大日本塗料株式会社

2026年度 中間期
決算説明資料

東証プライム：4611

2026年11月17日

本日のサマリー

FY26 中間業績ハイライト

売上高	51,362 百万円	期初予想比	+8.1%
		前年同期比	+11.7%
営業利益	4,516 百万円	期初予想比	+115.1%
		前年同期比	+148.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	3,432 百万円	期初予想比	+174.6%
		前年同期比	+144.2%

FY26通期 業績予想（修正）

売上高	100,000 百万円	期初予想比	+4.2%
		前期比	+6.7%
営業利益	8,000 百万円	期初予想比	+45.5%
		前期比	+107.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	5,800 百万円	期初予想比	+70.6%
		前期比	+243.5%
配当予想	1株当たり 58 円	前期比	±0円予定（※変更なし）

【中間実績】
原材料をはじめとするコスト増を、塗料分野における販売数量の増加および価格改定により吸収し、前期比で大幅増益。
海外塗料は低迷。照明機器は概ね計画通りの進捗。

【業績予想】
2026/10/27公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」において、売上高および利益面の通期業績予想を上方修正。
品質問題の影響緩和や販売価格の改定により、売上高は想定を上回る見込み。数量伸長に伴う収益性の向上により、利益も増加する見込み。

Part Ⅰ. 決算実績・業績予想 p. 2

Part Ⅱ. 神東塗料の完全子会社化に関して p. 15

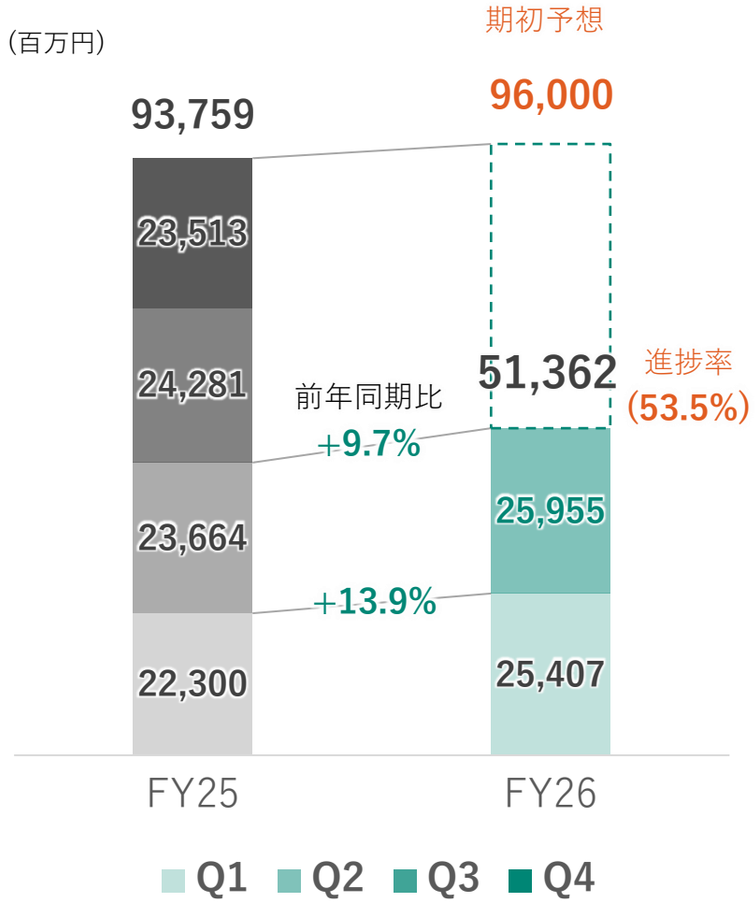
Part Ⅲ. 中期経営計画の進捗 p. 22

Appendix. 経営指標の推移 p. 31

2026年度中間期 連結損益の状況

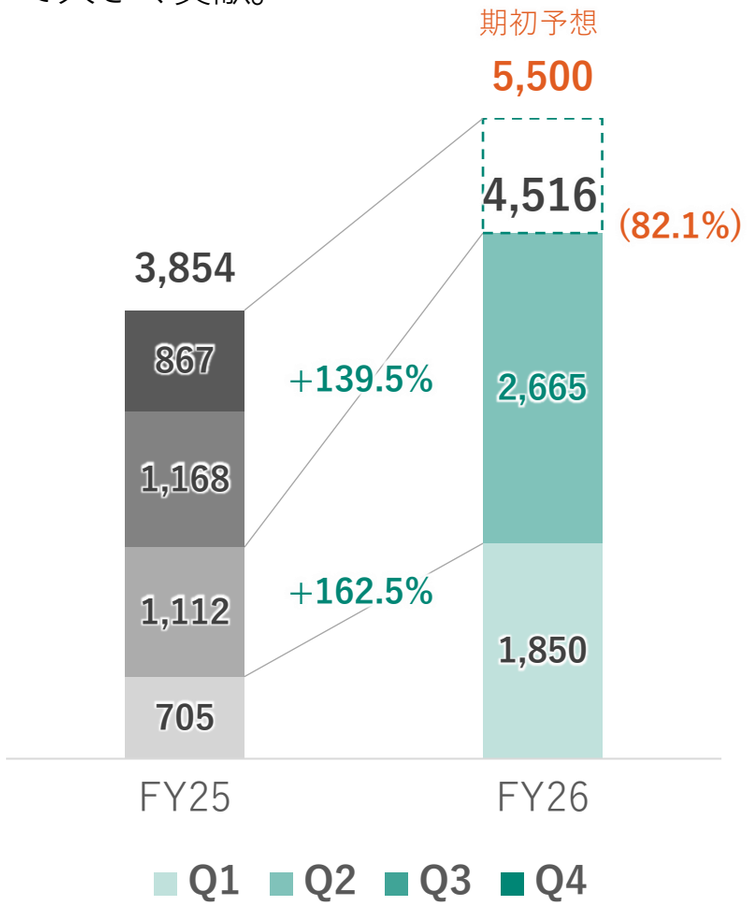
売上高

- 国内塗料では品質問題影響が緩和し、構造物塗料を中心に販売が大きく回復。
- 原料価格上昇分の転嫁が寄与。



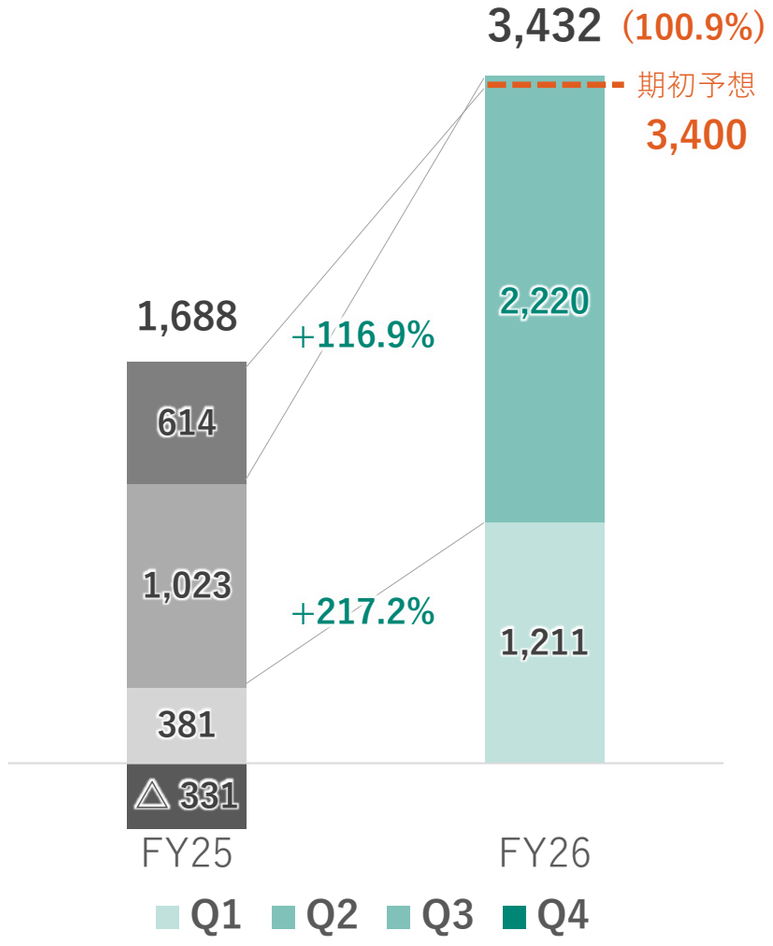
営業利益

- 国内塗料における販売数量の伸長とそれに伴う収益性の向上が寄与し、増益。
- 特に強みとする構造物塗料の回復が収益面で大きく貢献。



親会社株主に帰属する中間純利益

- 営業利益の大幅増益により、純利益も増益。



2026年度中間期の損益状況：国内塗料

JIS一時停止処分解除後の需要回復により販売数量が増加。生産効率改善も寄与し、前期比で大幅増益

(百万円)	FY25 中間	**FY26 中間**	前期比 増減額	前期比 増減率	備考
売上高	**35,466**	**40,321**	**＋ 4,854**	**＋ 13.7%**	
一般用分野	10,135	13,085	＋ 2,949	＋ 29.1%	• JIS処分解除や再発防止策の進捗により、構造物用塗料を中心に販売回復が進展。
工業用分野	9,027	10,128	＋ 1,101	＋ 12.2%	• 住宅着工件数の減少等を背景に建材用塗料の需要が減少したものの、その他の用途における需要は堅調に推移。
インク/分散/他	2,056	2,058	＋ 2	＋ 0.1%	• 主要顧客の在庫調整が影響し、販売数量は伸び悩み。
子会社/調整	3,985	4,831	＋ 845	＋ 21.2%	• 販売子会社の好調な業績により増収。
神東塗料	10,262	10,217	△ 44	△ 0.4%	• 粉体塗料及び防食塗料の販売が好調に推移したものの、インフラ分野における工事売上の減少により、微減。
営業利益	**542**	**3,215**	**＋ 2,673**	**＋ 492.9%**	• 需要回復に伴う販売数量の増加に加え、生産効率の改善による収益性の向上も寄与し、大幅に増益。
営業利益率	1.5%	8.0%	＋ 6.4p	-	

2026年度中間期の損益状況：海外塗料

東南アジアでは輸出販売が伸長も、メキシコにおいて販売減少に伴う収益性低下により、前期比で減益

- 中国事業の抜本的な構造改革として2026年2月に現地法人の持分譲渡を決定。
  2027年3月期中間期末をもって連結範囲から除外。自社生産体制から撤退し、海外塗料事業の収益体質改善を急ぐ。

（百万円）	FY25 中間	**FY26 中間**	前期比 増減額	前期比 増減率	備考
売上高	**4,155**	**4,693**	**＋ 537**	**＋ 12.9%**	
東南アジア	2,865	3,371	＋ 506	＋ 17.7%	• 域内の自動車部品向け需要は低調に推移も、輸出販売が増加。加えて、原材料価格の上昇に対応した販売価格の改定が進展したことから、増収。
メキシコ	885	717	△ 168	△ 19.0%	• 主要顧客における減産影響を受け、減収。
中国	404	603	＋ 199	＋ 49.2%	• 事業撤退に伴う取引先への対応を進めるなかで、体制移行を見据えた需要を取り込み、増収。
営業利益	**239**	**216**	**△ 23**	**△ 9.8%**	• 東南アジアにおいて販売価格の改定等により収益性改善も、メキシコにおける販売減少の影響を補うまでは至らず、減益。
営業利益率	5.8%	4.6%	△ 1.2p	-	
営業利益（中国除く）	**359**	**283**	**△ 76**	**△ 21.2%**	
営業利益率（同上）	9.6%	6.9%	△ 2.7p	-	

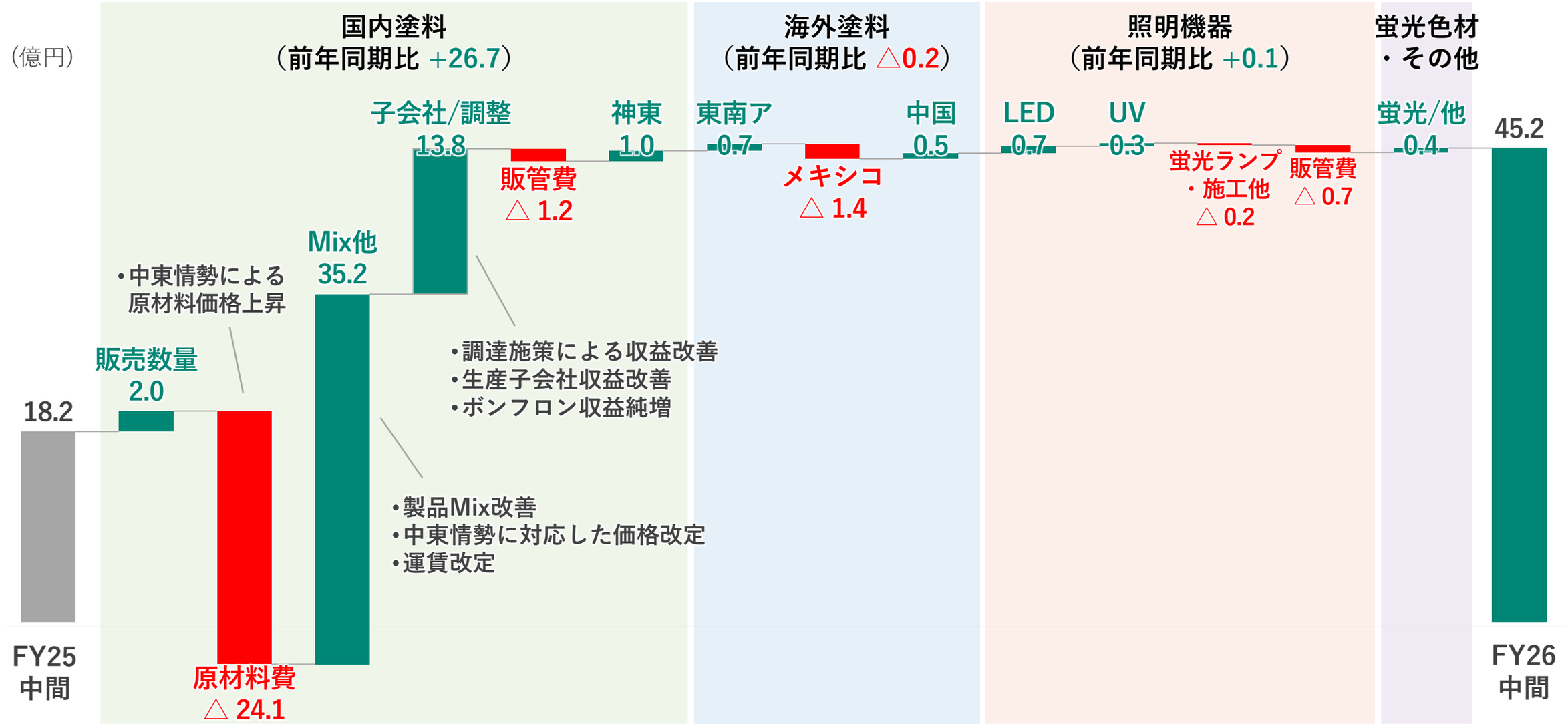
2026年度中間期の損益状況：照明機器

コスト増加も、価格戦略等による製品収益性の改善により前期比で増益

（百万円）	FY25 中間	**FY26 中間**	前期比 増減額	前期比 増減率	備考
売上高	**4,877**	**4,988**	**＋ 110**	**＋ 2.3%**	
LED	3,843	3,931	＋ 87	＋ 2.3%	• 商業施設や高級ブランド店舗向けの需要減少も、オフィスやホテル向け需要のほか蛍光ランプのLED化需要の増加により、増収。
UV	358	407	＋ 48	＋ 13.5%	• 殺菌用途向けの需要が主要顧客を中心に堅調に推移。
蛍光ランプ/施工/他	674	649	△ 25	△ 3.8%	• 蛍光ランプは市場縮小に伴い需要が減少し、減収傾向。
営業利益	**844**	**851**	**＋ 6**	**＋ 0.8%**	• 販売促進活動に伴う広告宣伝費や人件費が増加も、販売価格の改定等による収益性の改善により、増益。
営業利益率	17.3%	17.1%	△ 0.2p	-	

2026年度中間期 連結営業利益の増減要因（前年同期比）

国内塗料の品質問題からの販売回復と、それに伴う生産収益性の改善により増益



バランスシートの状況

販売増加や原材料価格上昇等により運転資本が変動、利益の積み上がりにより財務基盤を強化

（百万円）	2026年3月末	2026年9月末	増減額	備考
資産合計	**137,490**	**141,624**	**＋ 4,134**	
流動資産	51,258	54,474	＋ 3,215	• 売上増加に伴う債権増加 +1,009 • 在庫確保および在庫価格上昇に伴う増加 +1,971
有形固定資産	48,270	48,089	△ 181	
無形固定資産	1,492	1,410	△ 81	
投資その他の資産	36,468	37,650	＋ 1,181	
負債合計	**60,813**	**63,193**	**＋ 2,379**	• 在庫確保および原材料価格上昇に伴う仕入債務の増加+2,571
（うち 借入金）	(14,500)	(13,946)	(△ 553)	
純資産合計	**76,676**	**78,431**	**＋ 1,754**	
（うち 株主資本）	(54,883)	(56,698)	(＋ 1,815)	
負債・純資産合計	**137,490**	**141,624**	**＋ 4,134**	
自己資本	66,773	68,488	＋ 1,715	• 利益剰余金+1,775
自己資本比率	48.6%	48.4%	△ 0.2p	

キャッシュフローの状況

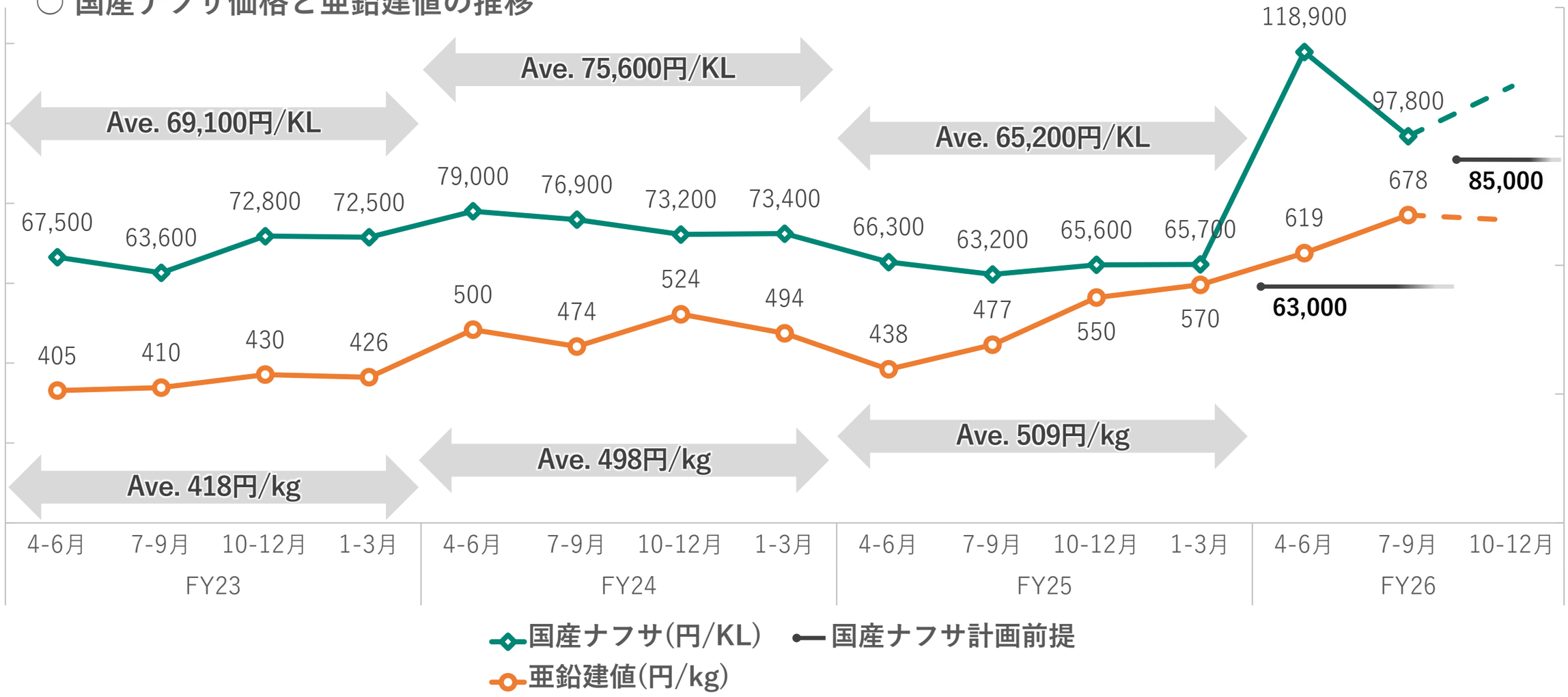
本業の資金創出力は大幅に改善。成長投資や株主還元に積極的に配分。

（百万円）	FY25中間	**FY26中間**	増減額	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	**1,393**	**4,459**	**＋ 3,065**	• 国内塗料の販売回復による利益増加
投資活動による キャッシュ・フロー	**△ 1,517**	**△ 3,256**	**△ 1,738**	• 設備投資の増加 • 有形固定資産および投資有価証券売却高の減少
財務活動による キャッシュ・フロー	**170**	**△ 2,532**	**△ 2,703**	• 借入金による資金調達額の減少 • 配当総額の増加
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 297	105	＋ 403	
現金及び現金同等物の増減額	△ 251	△ 1,224	△ 973	
現金及び現金同等物の期首残高	11,469	10,913	△ 556	
現金及び現金同等物の期末残高	11,218	9,688	△ 1,529	

主要な原材料市況の推移

2026/2末以降の中東情勢により、原材料調達環境が急激に悪化。
国産ナフサ価格はQ1に過去最高水準まで上昇。先行きも高値圏での不安定な推移が続く見通し。

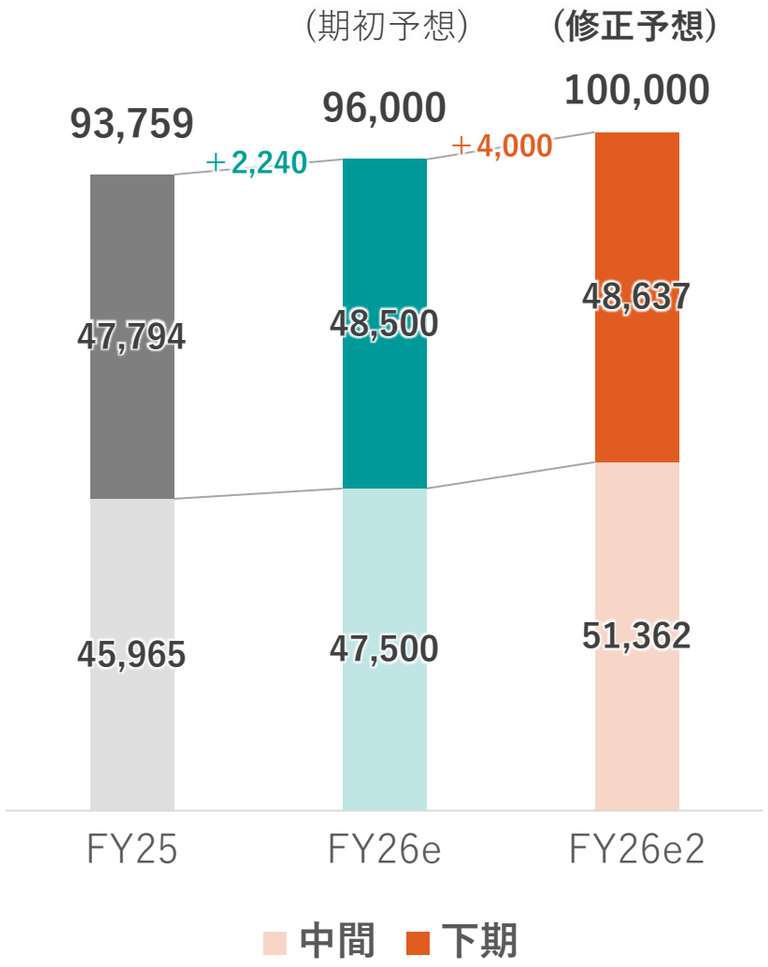
○ 国産ナフサ価格と亜鉛建値の推移



2026年度通期 連結業績予想（修正）

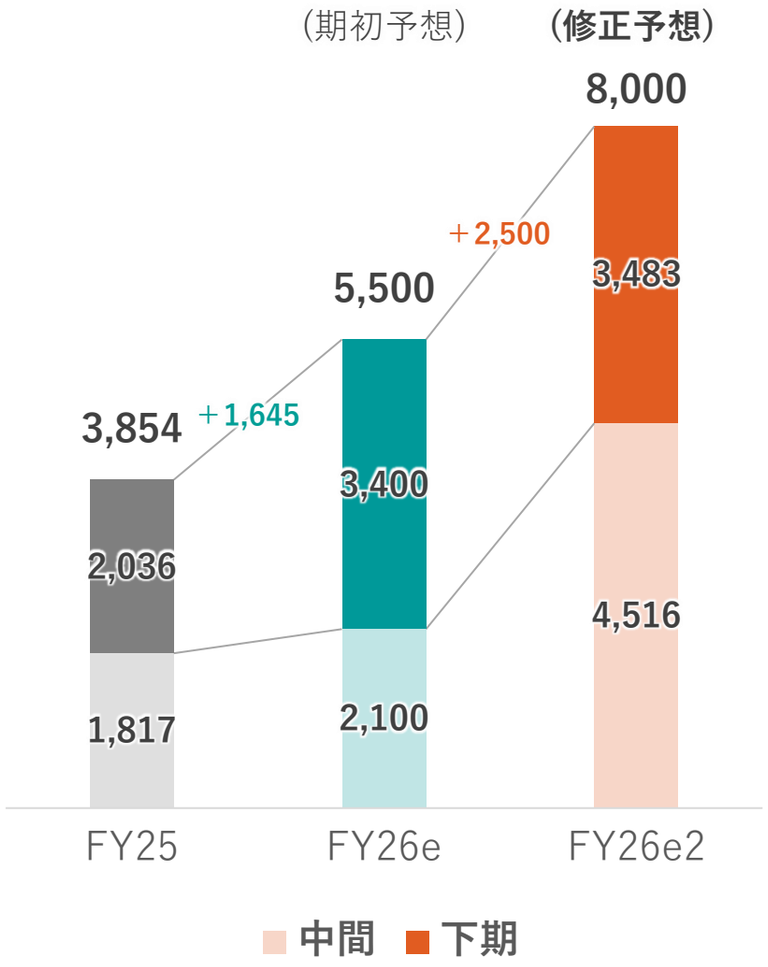
売上高

- 国内塗料事業を中心に、販売回復と収益性改善が下半期も継続すると見込み、業績予想を増額。



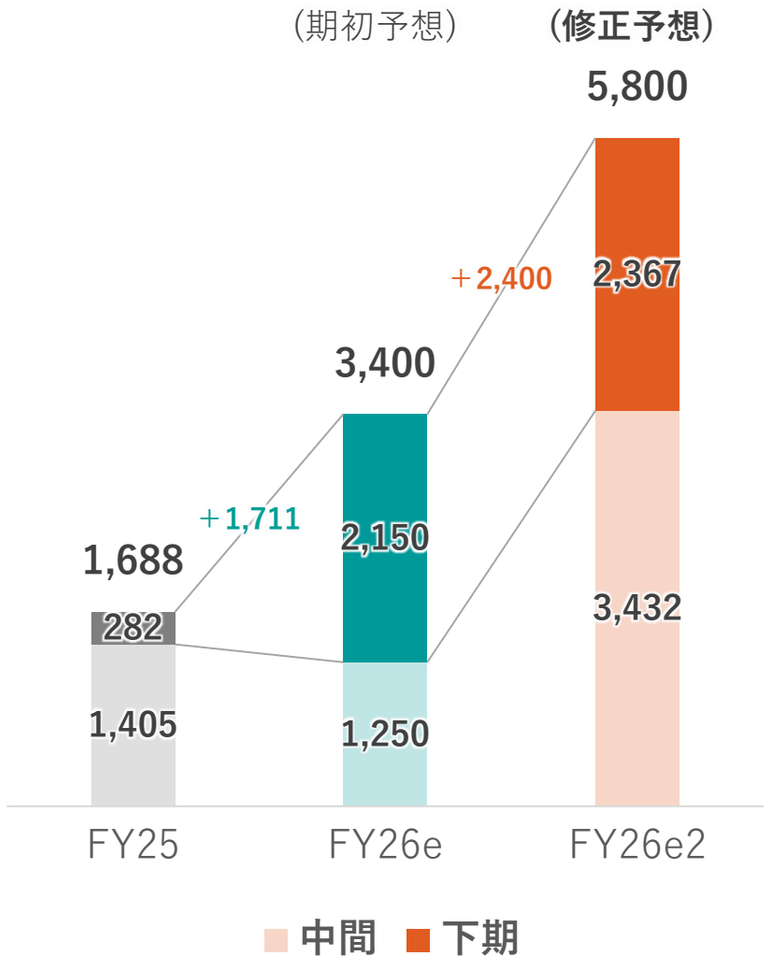
営業利益

- 下期も販売数量の増加に伴う生産効率の改善を見込み、増額。



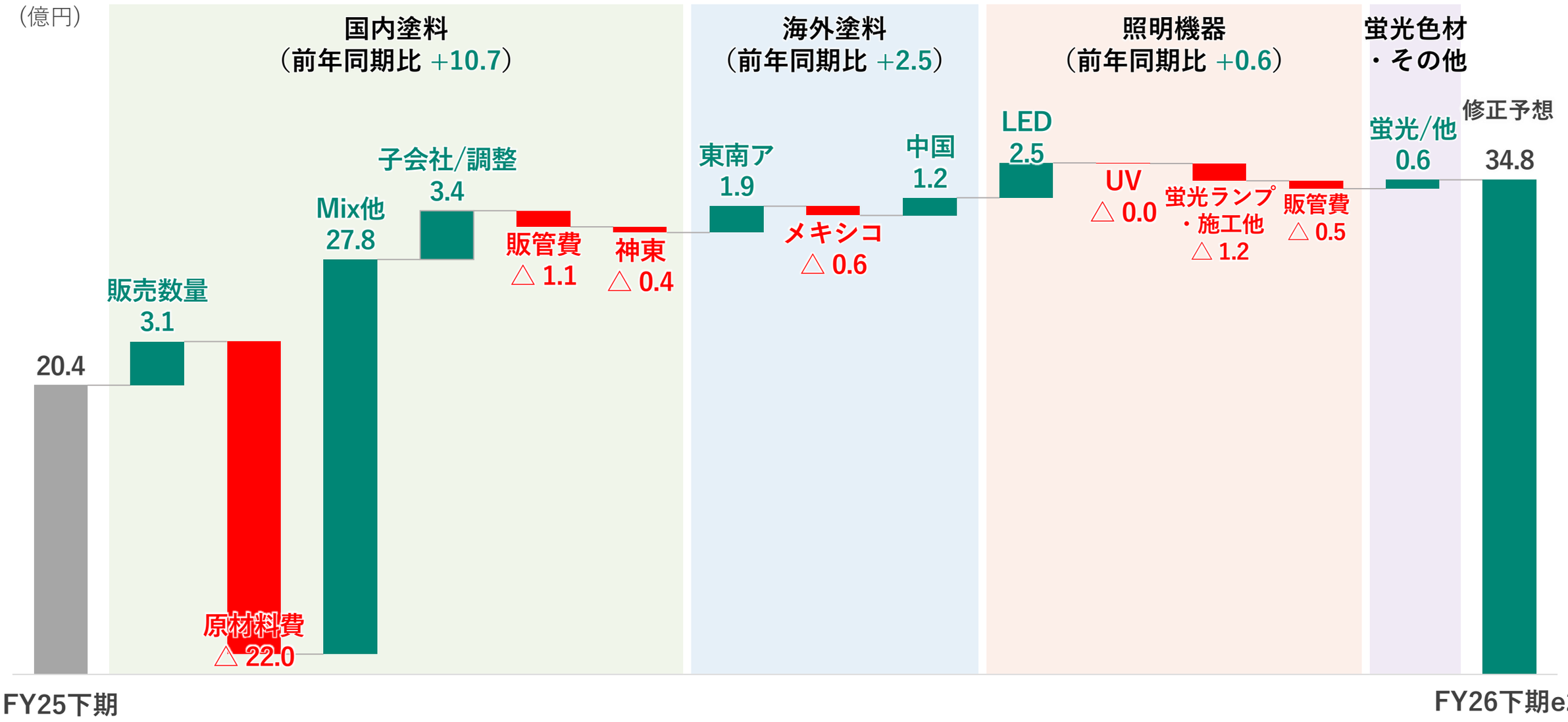
親会社株主に帰属する当期純利益

- 営業利益の上振れを踏まえ、当期純利益も増額予想。



2026年度下期修正予想 連結営業利益の増減要因（前年同期比）

国内塗料の数量回復および製品の安定供給を最優先とする価格是正により、前期下期から増益予想。



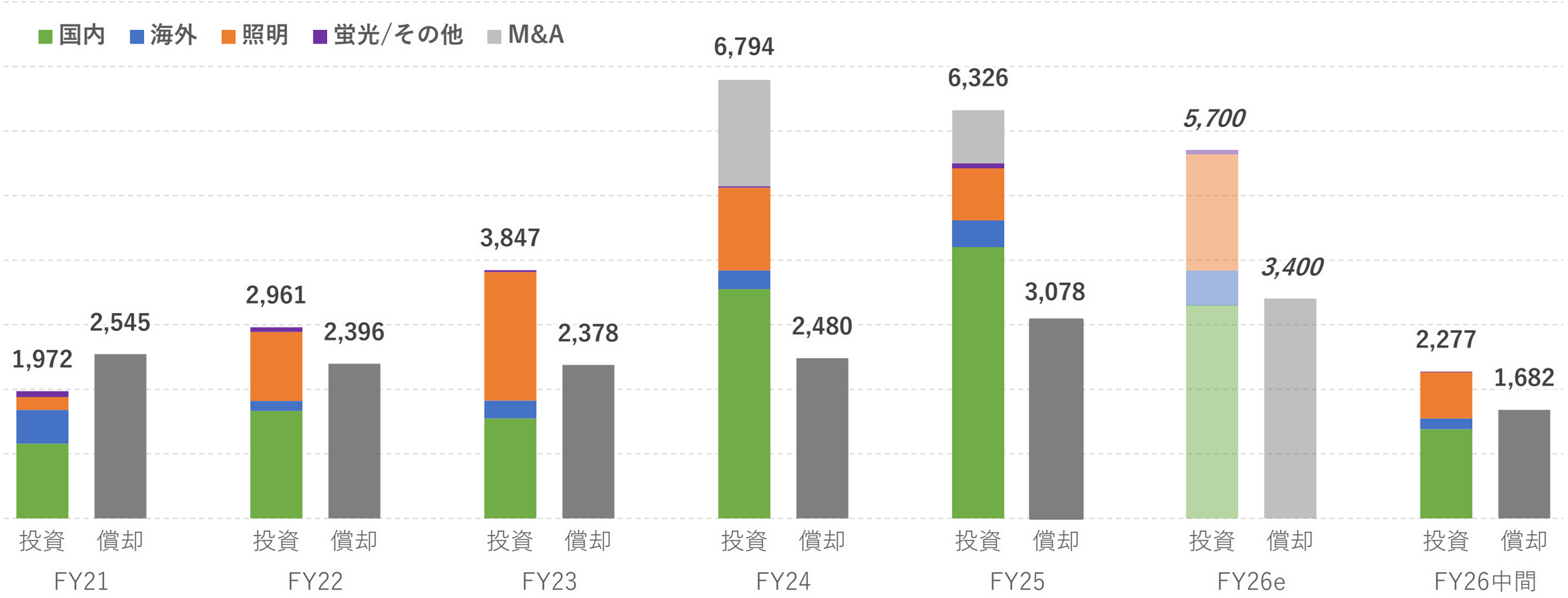
投資額(設備投資,M&A)および減価償却費の推移と進捗

キャッシュアロケーション方針に基づき、積極的な設備投資を継続。

FY26の主な設備投資計画

国内塗料　本社移転(環境改善)4億円、工場(効率化,能増,安全,更新)24億円

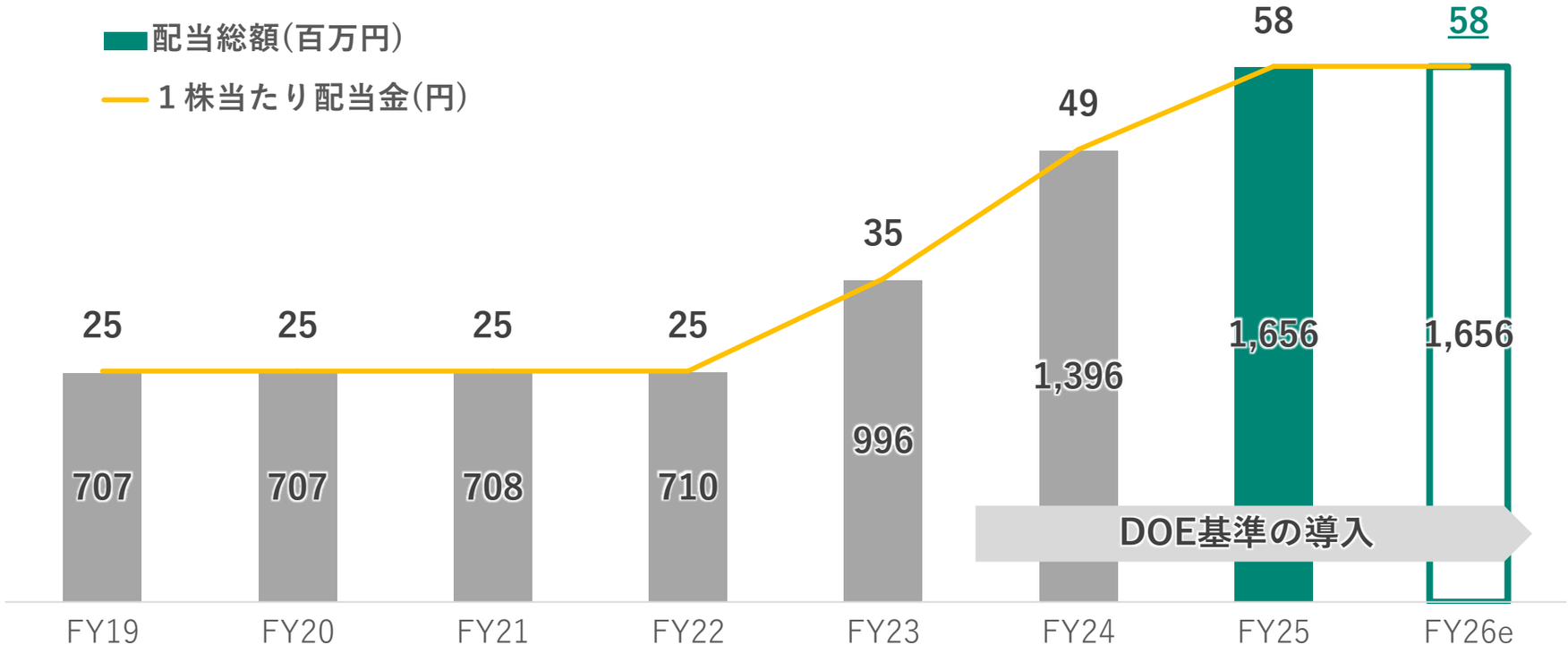
照明機器　工場増改築(効率化・能増)18億円



株主還元

再掲

DOE3.0%を基準に、2026年度も積極的な株主還元を計画。



2025年度

1株当たり **58円**

FY2024比　＋ **9円**（＋**18%**）

2026年度計画

1株当たり **58円**

FY2025比　± **0円**

積極的・安定的な株主還元により資本の過度な蓄積を抑制

株主還元方針

- 長期安定的な配当を目指し、株主還元指標に**DOE：株主資本配当率**を採用。
- 2026中計期間（2024年度~2026年度）は**DOE3.0%**を基準とし、次期中計最終年度となる2029年度までに5.0%到達を目標とする。（基準とする株主資本は前期末）
- 自己株式の取得は、市場環境や資本効率等を勘案し、必要と判断した場合は適切な時期に実施。

Part Ⅰ. 決算実績・業績予想 p. 2

Part Ⅱ. 神東塗料の完全子会社化に関して p. 15

Part Ⅲ. 中期経営計画の進捗 p. 22

Appendix. 経営指標の推移 p. 31

神東塗料の完全子会社化の目的と概要

「連結化」から「一体経営」へ。シナジーの本格実現とグループの収益力向上を加速

一体経営への移行
- 親子上場に伴う利益相反管理上の制約を解消
- 経営資源を一体的に運用

構造改革の加速
- 意思決定を迅速化
- グループ全体最適へ転換

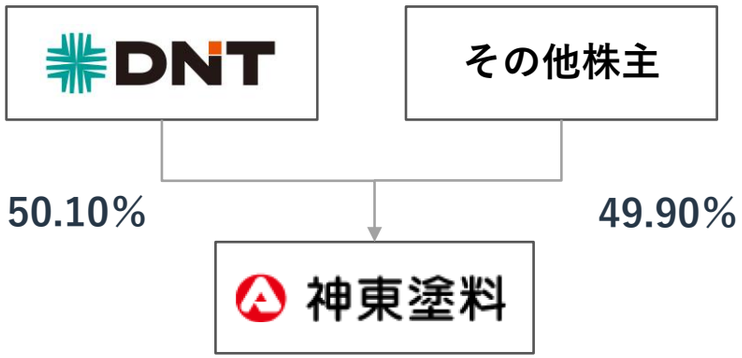
収益基盤の強化
- 工業用塗料の競争力を強化
- ビジョン2029の実現に寄与

✓ 当社による神東塗料の完全子会社化は、**株式交換**の手法で実施。
神東塗料の臨時株主総会決議において承認を前提として、株式交換は2027年2月25日効力発生を予定。

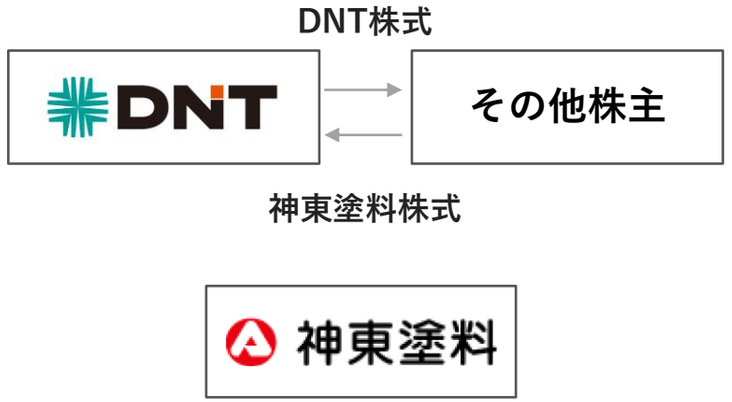
✓ 株式交換比率は、神東塗料株式１に対し、当社株式0.0824。交換比率については次頁ご参照。

✓ 神東塗料株主には当社株式を交付し、完全子会社化後のシナジーと事業成長の成果を享受いただく。

現状

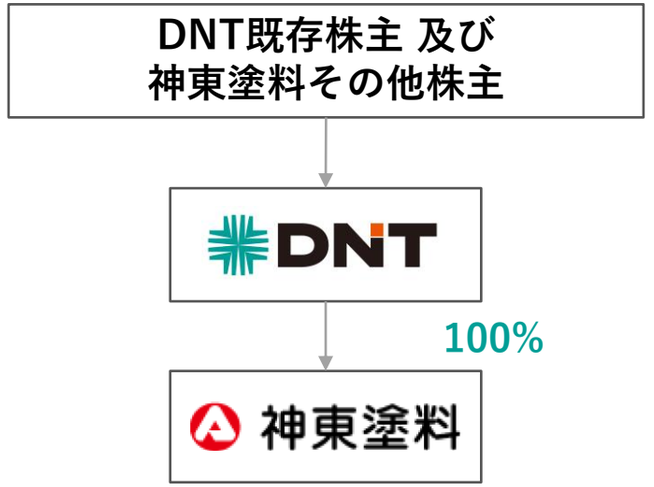


株式交換



- DNT以外の神東塗料株主に対し、保有株式数に応じてDNT株式を交付

本件実施後



株式交換による完全子会社化と交換比率の考え方

財務基盤を維持しながら成長投資余力を確保し、
完全子会社化後の成長成果を共有できる株式交換を採用

①株式交換手法の採用

1. **統合後の成長成果を共有**
   神東塗料株主に当社株式を交付し、完全子会社化後のシナジーと事業成長の成果を共有
2. **成長投資余力の確保**
   現金支出を抑制し、研究開発・設備・人材等への投資余力を確保
3. **自己株式の有効活用**
   交付株式には保有する自己株式等を充当し、資本を有効活用

**財務基盤を維持しながら、
両社の企業価値向上を目指す手法として選択**

②交換比率の算定・決定

神東塗料株式１株につき当社株式 0.0824株

両社の第三者算定機関による全ての算定レンジ内

算定主体	算定手法		算定レンジ
	DNT	神東塗料	
当社の第三者算定機関	市場株価基準法	市場株価基準法	0.071～0.099
		DCF法	0.043～0.100
神東塗料の第三者算定機関	市場株価基準法	市場株価基準法	0.0789～0.0898
		DCF法	0.0637～0.0912

独立した算定・検討プロセス

- 両社がそれぞれ独立した第三者算定機関を選定
- 両社による相互のデュー・ディリジェンスを実施
- 神東塗料の独立役員委員会が取引条件や手続を検討し、答申

完全子会社化に向けたスケジュール

2027年2月の完全子会社化に向けて所定の手続きを進め、一体経営へ移行

2026年11月6日	2027年1月15日	2027年2月22日	2027年2月25日
株式交換契約締結	神東塗料 臨時株主総会	上場廃止（予定）	株式交換 効力発生

施策の実行確度向上

- 領域別施策の優先順位を整理
- 実行計画・KPIを具体化

構造改革の具体化・段階的実行

- 調達、生産、物流等を最適化
- 経営資源の一体運用を推進

成長投資の加速

- 工業用塗料の競争力を強化
- 研究開発・設備・人材へ再投資
- 神東塗料の技術、ブランド、人材、顧客基盤を維持しながら推進

完全子会社化をゴールではなく、一体経営による企業価値向上のスタートと位置づける

※神東塗料株式の最終売買日は2027年2月19日予定。

2026中計からビジョン2029に向けた現在地

事業基盤の「拡大・再構築」から、一体運営による「収益力向上」へ

PMI推進の中で施策が具体化する一方、親子上場に起因する課題が顕在化

- 2025年3月に神東塗料を連結化して以降、調達メリットの創出、製品相互供給などPMI施策が推進。
  さらに、生産、物流、システム連携等を検討。
- 一方、親子上場下では個別施策の検討や実行に想定を上回る時間と管理負担が発生し、**検討・実行のスピードと深度に課題が顕在化**。
- 国内塗料市場の成熟や原材料コストの上昇が続くなか、両社の競争力強化に必要な投資を機動的に進め、ビジョン2029の実現に向けた施策を加速するため、完全子会社化を決定。

2026中計｜基盤の拡大・再構築

- 外部リソースの獲得、活用
- 神東塗料、ボンフロンの連結化
- 中国事業等の構造改革

本件｜一体経営への転換点

- 親子上場に伴う制約を解消
- 経営資源を一体的に運用
- シナジー施策を本格実行

ビジョン2029｜持続的収益力

- 工業用塗料の競争力強化
- 構造改革と成長投資を加速
- 収益性、資本効率を向上

2027年3月期予想

営業利益 80億円

完全子会社化を通じた収益構造強化への貢献

ビジョン2029

営業利益 100億円

両社の強みを融合し、工業用塗料を第二の収益の柱へ

両社の強みを維持・融合し、工業用塗料を構造物用塗料に次ぐ収益の柱へ育成

DNT

- 重防食をはじめとする技術・顧客、塗膜に関する豊富な独自データ
- 国内外の販売ネットワーク
- 調達・生産・物流・研究開発基盤



×

神東塗料

- 電着塗料、粉体塗料の技術
  ＝「顧客ニーズに応じた最適な」塗装・硬化技術
- 工業用塗料の顧客基盤
- ブランド・人材・海外JVを通じた事業基盤



完全子会社化による一体経営の深化
経営資源の一体運用 × 意思決定・施策実行の迅速化

短期｜既存事業の収益性向上

- 製品相互供給
- 顧客、販路へのクロスセル
- 調達、生産、物流の効率化

用途・顧客開拓／収益性向上

中長期｜新しい成長事業の構築

- 技術、開発基盤の相互活用
- 両社の技術や知見、データを融合し、成長分野における新たな用途を探索

工業用塗料の競争力向上／成長領域開拓

両社の技術融合による新しい成長事業の展望

DNTと神東塗料が有する技術・知見を組み合わせ、成長分野で求められる新たな機能や用途を探索

成長領域の候補	「日本成長戦略」等に紐づく主な対象領域	各分野で求められる機能・課題
社会インフラと国土を護る 	防災技術／洋上風力／ 艦艇・次世代船舶・船舶修繕	✓ 構造物の長寿命化、保全判断の高度化 ✓ 補修・補強の省人化、短工期化 ✓ 防災・減災への対応
電動化とエネルギーを支える 	半導体／データセンター・蓄電池／ 永久磁石／GXケミカル／複合新素材	✓ 電気的信頼性の向上 ✓ 熱管理と絶縁の両立 ✓ 軽量化、工程簡素化、環境負荷低減
知能化するモビリティとロボットを支える 	フィジカルAI ／自動運転技術／ 次世代ワイヤレス	✓ 認識・計測精度の安定化 ✓ ロボット部材の小型・柔軟化 ✓ 通信・センサー機能の安定化
海と空の安全・安定運用を支える 	空飛ぶクルマ ／民間航空機／ 海洋無人機・MDA／次世代船舶・船舶修繕	✓ 電動推進の信頼性、寒冷地運用 ✓ 音・振動制御 ✓ 整備負担低減、海洋資材の長寿命化

環境問題の解決や資源循環に貢献

両社グループの技術活用により期待される機能

長期保護と 劣化・耐久性評価	電気・熱の特性（絶縁性など） を制御する膜の形成	波長に応じた 光学特性の設計	音響・振動 特性の制御

Part Ⅰ. 決算実績・業績予想 p. 2

Part Ⅱ. 神東塗料の完全子会社化に関して p. 15

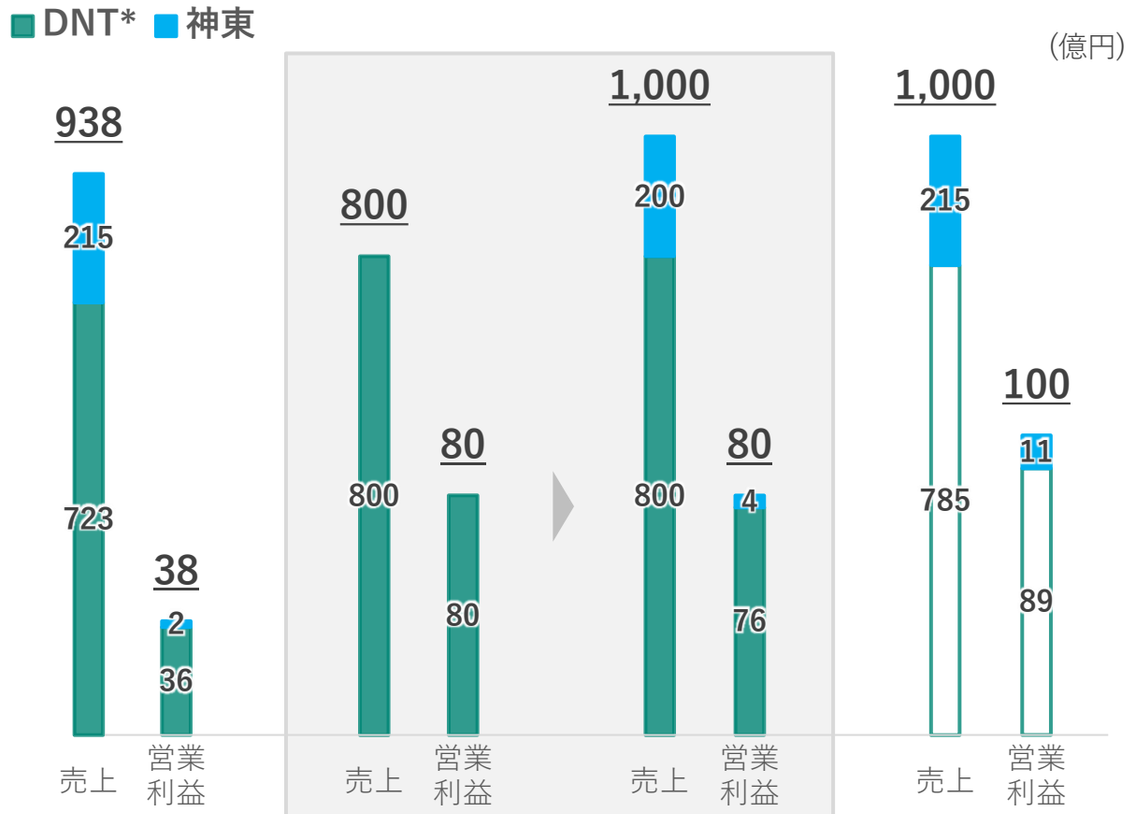
Part Ⅲ. 中期経営計画の進捗 p. 22

Appendix. 経営指標の推移 p. 31

2026中計・ビジョン2029実現に向けた立ち位置と取り組み

一部更新

ビジョン2029の前提となるM&Aは想定よりも早期に実行。FY26は中東情勢に伴う混乱が続くが2026中計の達成が射程に入る。ビジョン2029の業績目標は堅持し、更なる収益性改善に注力中。



	FY25実績	FY26中計	FY26修正予想	ビジョン2029
NOPAT-ROE	4.1%	8.0%程度	8.0%(概算)	8.0%程度

*DNTとして記載の数値は、連結合計から神東塗料分を差し引いた値を便宜上記載

取り組み方針・今後の見通し

規模の拡大

- ビジョン2029の売上高目標1,000億円に向けてはM&Aを前提としていたなか、神東塗料 (2025/3)、ボンフロン(2025/12)と2件のM&Aを実施。

→両社の事業領域を踏まえた事業ポートフォリオ整理を行い、成長領域・収益基盤領域へ注力。

→**神東塗料の完全子会社化決議(2026/11/6公表)**

収益性改善

- 外部リソース活用を含めた事業構造の抜本的改善や生産性向上を推進。

→ 新たなグループ体制における生産最適化が最重要課題。

→ **DNTと神東塗料の技術融合により、グループの新たな収益基盤となりえる成長領域を模索**

資本効率改善

- 積極的な株主還元と成長分野への投資、適切な設備刷新により、自己資本の過剰な蓄積を抑制。

→キャッシュアロケーション方針に基づき、積極的な投資実行と遊休資産整理と株主還元の強化を継続実施。

併せて借入を活用し、自己資本比率は50%以下への抑制を継続。
(FY23：58.6% → FY24：48.8% → FY25：48.6%)

キャッシュアロケーションの進捗状況

一部更新

DOEに基づき株主還元は岩盤として確保。
営業CFは中間期44.5億円と大幅に改善。資産や借入の活用も機動的に実施。

キャッシュインの進捗状況

営業CF

FY24実績： 35億円
FY25実績： 30億円
FY26見込： 80億円（概算）

今期の収益改善により計画に肉薄
引き続き収益改善に努める

政策保有株式売却高

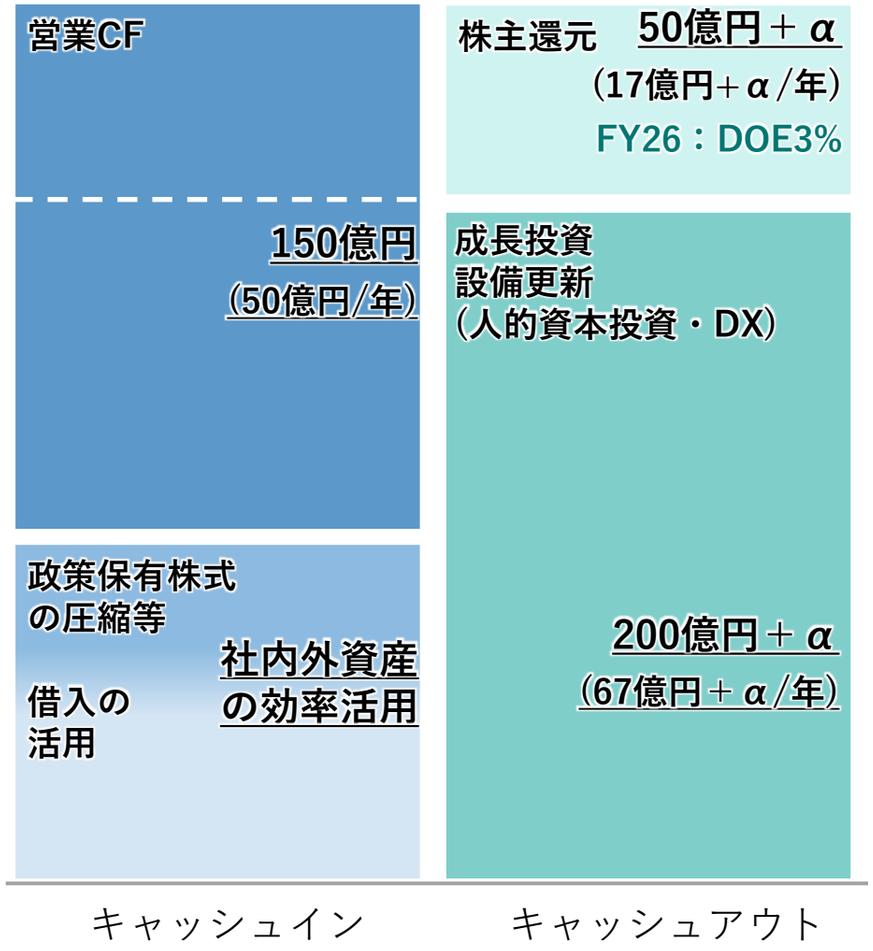
FY24実績： 28億円
FY25実績： 15億円

借入の活用(前期末比増加額)

FY24実績： 15億円
FY25実績： 29億円

遊休資産と借入の活用を継続実施

2024-2026年度 3か年累計（計画）



キャッシュアウトの進捗状況

配当総額 FY24実績： 13.9億円
FY25実績： 16.5億円
FY26計画：約16.5億円

DOEに基づき還元強化を進める

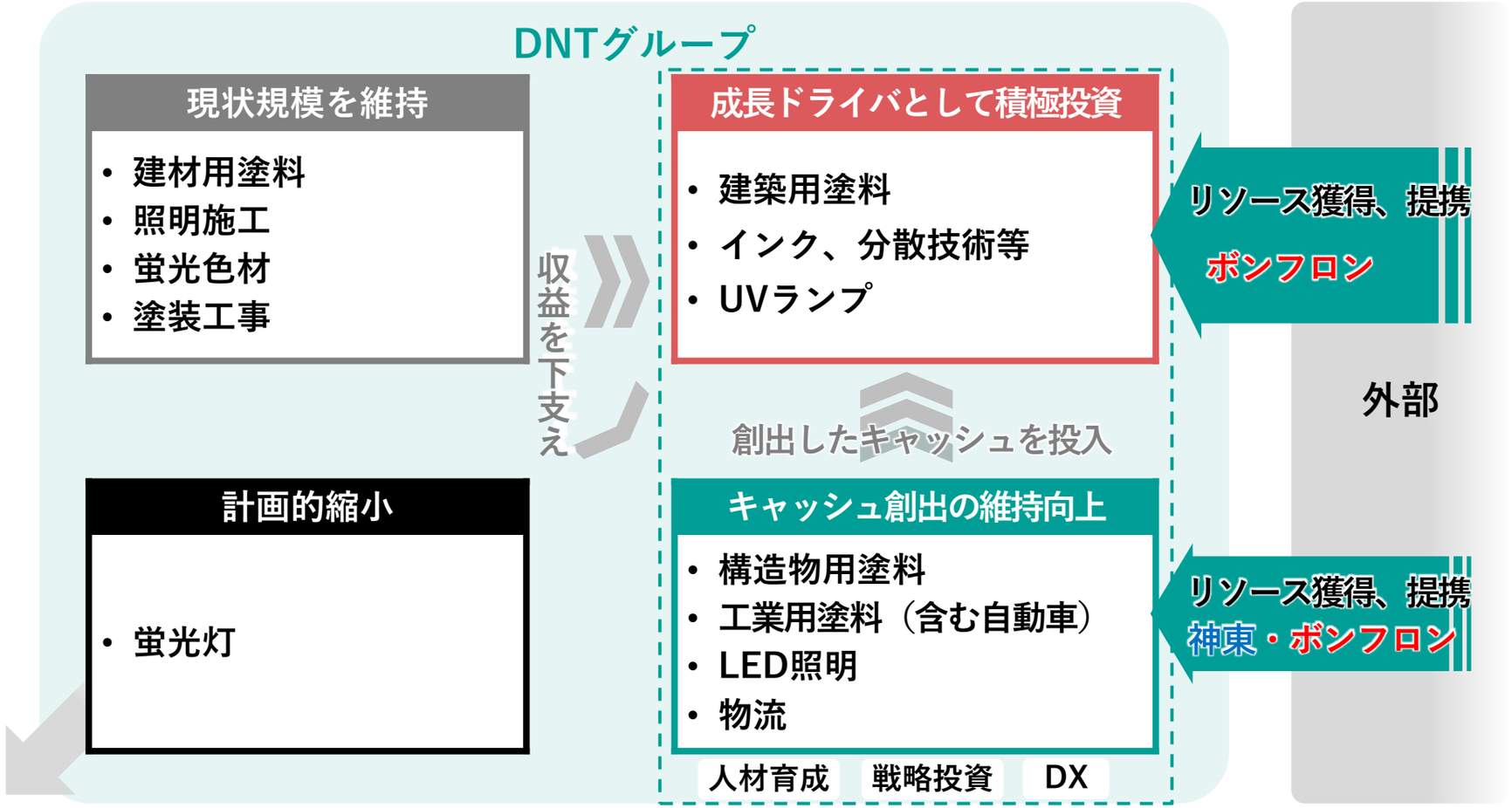
投資額 FY24実績： 67億円
（神東塗料 M&A含む）
FY25実績： 63億円
（ボンフロンM&A含む）
FY26計画： 57億円

将来を見据えた大型投資を複数実行の一方、
営業CFの弱さに鑑み計画比では抑制

事業戦略　ポートフォリオの整理（国内・照明・蛍光・他）

再掲

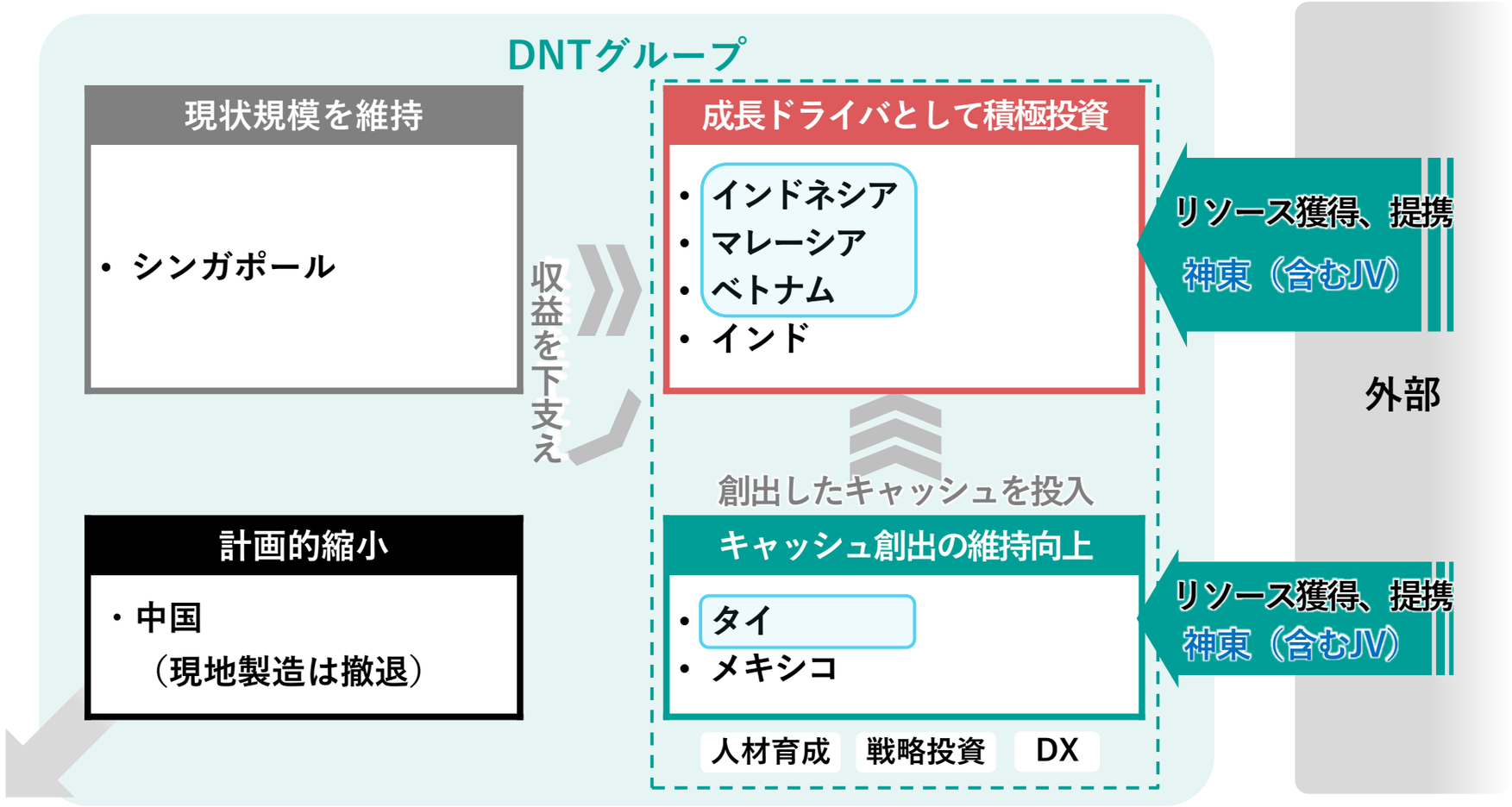
- 2026中計期間に実施した2件のM&Aを踏まえ、既存ポートフォリオの見直しを実施。
- 神東塗料連結化で国内シェアトップとなる粉体塗料や電着塗料による工業用途向けにリソースを集中。
  統合効果により構造物用塗料に次ぐ柱としてキャッシュ創出力を更に高めていく。



事業戦略　ポートフォリオの整理（海外）

再掲

- 海外塗料市場が成長ドライバーとの認識はそのままに、2026中計期間に実施した中国現法の事業譲渡並びに神東塗料の連結化を踏まえ、国内と同様、エリア別で4つのカテゴリーに分類。
- 神東塗料と良好な関係にあるJVパートナーと将来的な連携強化を視野に入れながら、事業領域を拡大していく。



2026中計における重点施策の進捗（1/2）

一部更新

重点施策		取り組み内容
成長市場と先駆的領域への注力	①事業の位置づけ整理	• 中国事業の見直し検討(海外) → **持分譲渡完了(2026中間期)。中国の生産拠点は撤退し、2026下期以降は赤字解消見通し。** • ハイグレード住宅市場への注力強化(照明) → 旺盛な既存市場対応を優先し、住宅市場の開拓は一時中断。 • 2027/12の蛍光灯生産終了を見据えた、蛍光灯製造拠点のUVランプ製造への転換および生産移管の推進 (照明) • 神東塗料やボンフロンを加えた事業ポートフォリオの再整理に着手(国内,海外)
	②戦略投資の実行	• クマロン樹脂製造の収益率向上とBCP強化を目的とした蒸留塔更新(国内) **→2026/11完工、即稼働予定** • 照明機器の生産効率化および能増を図る工場増改築着工(照明)
	③製品開発強化	• 細胞外小胞を検出可能な試薬キットExorapid-qIC® の新製品発売(国内) → 試験結果の定量測定システムをTOPPANと共同開発。米国、欧州、中国、台湾への販路を構築し、海外展開を進める。 • ナノコート材の独自の高透明・高屈折率化技術とカスタマイズ力を強みに、フィルム加工の海外シフトを捉えたグローバル展開を加速(国内) • 技術開発センター立ち上げ(照明) **→防水・防じん性能が高いフレキシブルLEDの技術を確立し、2026/9より発売開始** • 染料、薬剤の安全性に関する国際認証[エコテックス®エコパスポート]取得(蛍光)

2026中計における重点施策の進捗（2/2）

一部更新

重点施策		取り組み内容
外部リソース獲得・活用による事業基盤の拡大	④塗料事業の基盤拡大	• 神東塗料連結化(2025/3)→**神東塗料完全子会社化予定(2026/11/6公表)**
	⑤事業の抜本的効率化	• ボンフロン連結化(2025/12)
人材及び事業活動の全社最適化	⑥設備刷新・DXによる生産性向上	• 独自開発の購買システムを活用した原材料調達コストダウンとBCP強化(国内) • 東京オフィス改装、DNL新本社建設等の職場環境改善 (国内,照明) • タイに大規模な太陽光発電システムを導入、エネルギー効率改善(海外) →約36%のCO_2削減効果を確認。 • グループ拠点集約と物流効率化に向け、滋賀を新たな物流基幹拠点に (その他_物流) • **Web上で製品選定から見積作成までを完結できる「DNライトナビ」を公開** (照明) →顧客の製品選定・見積作成の迅速化に加え、営業・受発注業務の効率化に寄与
	⑦人と組織の全社最適化	• タレントマネジメントシステム導入(国内,照明) • 人事評価に360度評価を導入：管理職のマネジメント力、組織力向上へ(国内) • 役員報酬制度の改定：2026中計の業績目標と連動した評価指標へ
	⑧組織間協働の強化	• インクやライフサイエンス領域の強化に向けた組織再編(国内) • 販売力強化、海外事業推進ならびに国内外の事業部間の連携強化を図るべく、国内/海外の塗料事業の企画部門を統合(国内,海外) • プランニング機能強化を目的とした新組織立ち上げ(照明) • **DNT本社移転(2026/9)→ワンフロア化により部門間連携の強化やコミュニケーションを促進**

神東塗料とのシナジー創出に向けた取り組み

一部更新

事業提携コミッティ傘下に各分科会を立ち上げ、短期・長期両面からシナジー効果を発揮する体制を構築

	FY25	FY26	FY27	FY28	FY29	期待効果額	取り組み状況
調達	○		●			3億円	• 原材料品目やコストダウンに向けた取り組みを共有し、各社において調達コストの低減を図る。 → 共同購買による更なる安価調達に向けて協議 → **中東情勢にかかる対応における情報共有**
生産		○			●	7億円	• 品種別製造実績や製造原価構成について共有、最適化に向けた初期的検討に着手。 • **生産相互移管に向けた一部品目の試作生産、技術評価を継続**
人財						―	• 持続可能な経営体制構築に向けたサクセッションプランの検討着手。
その他		○			●	5億円	• **海外市場拡大に向け、DNT・神東海外子会社・海外JV先との間で現地協議を継続実施。** • 分析や特許管理業務の効率化に向けて協議。 • 業務システムの共通化やコストダウンについて検討開始。 • 環境安全 ・リスクアセスメント、GHG排出量の削減等のベストプラクティスに向けて協議。
販売、物流						算定中	• 相互の製品ラインナップ補完に向け、相互供給開始。 • 地区別での共同配送、保管・荷役の諸条件について協議。 • 調色業務の効率化や合理化に向けた検討着手。 • SCM高度化に向けて、2026/4よりDNT・神東間の人材交流を開始。 **→物流のグループ最適化に向けた具体的な検討開始**

DD時の想定効果

○ 効果発現目標　● 最大効果到達目標

中国事業の構造改革

更新

中国における自社製造体制から撤退し、経営資源を成長地域へ再分配
海外事業の拡大と収益性の向上を目指す

事業環境の変化

中国経済の減速

2020年以降のコロナ禍および中国経済の減速により、需要環境が急激に悪化

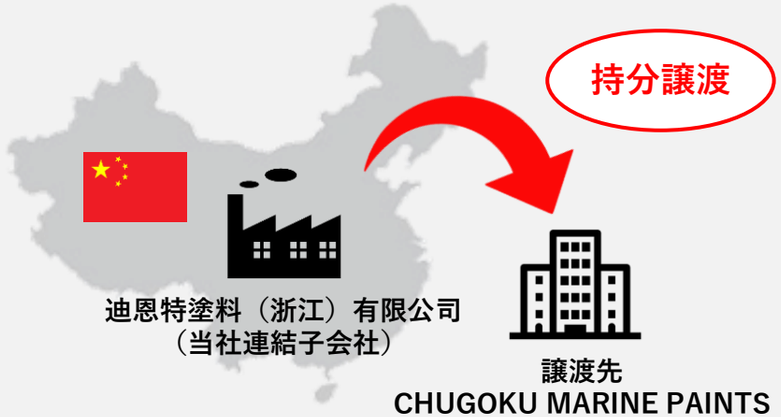
需要環境の悪化

市場環境の変化により業績が継続して低迷

構造改革を実施するも収益回復は困難

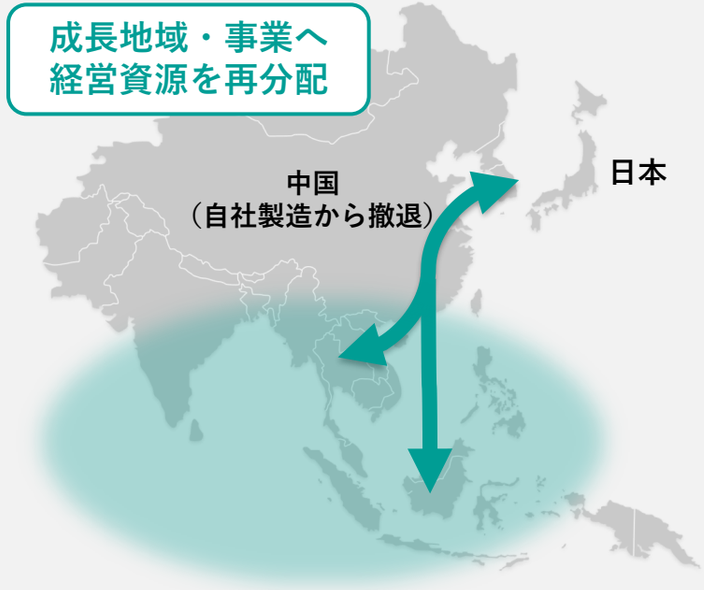
2024 年 3 月に旧上海工場を閉鎖する等、構造改革を推進してきたが、中長期的な収益回復は困難と判断

構造改革の実行



- ✓ 2026年2月26日 持分譲渡契約を締結
- ✓ 持分譲渡に係る権利義務の移転・変更登記完了（譲渡価格も確定）
- ✓ 関係会社株式売却益415百万円を特別利益として計上
- ✓ **2027年3月期中間期末をもって連結範囲から除外**
  ※海外現地法人は12月決算のため、P/L影響除外が下半期からとなる

今後の海外塗料事業の方針



- 神東塗料グループの海外事業活用も視野に、東南アジアやインド、メキシコを中心とする海外拠点に経営資源を再配分
- **海外事業の拡大および収益性の改善に努める**

Part Ⅰ. 決算実績・業績予想 p. 2

Part Ⅱ. 神東塗料の完全子会社化に関して p. 15

Part Ⅲ. 中期経営計画の進捗 p. 22

Appendix. 経営指標の推移 p. 31

連結損益計算書（年度推移）

（百万円）	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
売上高	**73,005**	**76,388**	**72,789**	**74,119**	**73,743**	**72,709**	**63,160**	**66,948**	**72,849**	**71,940**	**72,511**	**93,759**
Y/Y増減率(%)	0.5	4.6	△ 4.7	1.8	△ 0.5	△ 1.4	△ 13.1	6.0	8.8	△ 1.2	0.8	29.3
国内塗料	53,045	55,508	53,498	53,374	52,972	51,861	47,232	49,622	53,250	50,551	50,921	71,870
海外塗料	7,464	7,467	7,019	7,960	8,063	7,290	5,486	6,939	8,066	8,529	8,133	8,590
照明機器	9,131	9,694	9,092	9,470	9,377	10,135	7,239	7,656	8,557	9,686	10,418	10,424
蛍光色材	1,401	1,432	1,377	1,275	1,287	1,337	1,117	1,223	1,154	1,175	1,158	1,088
その他	1,961	2,284	1,801	2,038	2,041	2,084	2,084	1,507	1,820	1,997	1,879	1,785
売上総利益	20,040	21,906	22,649	22,813	21,833	21,800	19,165	19,658	20,616	21,804	22,463	25,878
売上高総利益率(%)	27.5	28.7	31.1	30.8	29.6	30.0	30.3	29.4	28.3	30.3	31.0	27.6
販売管理費	15,612	16,047	16,115	16,224	15,794	16,252	16,336	16,474	16,670	16,902	17,747	22,024
売上高販売管理費率(%)	21.4	21.0	22.1	21.9	21.4	22.4	25.9	24.6	22.9	23.5	24.5	23.5
営業利益	**4,428**	**5,858**	**6,533**	**6,588**	**6,039**	**5,547**	**2,828**	**3,183**	**3,946**	**4,901**	**4,716**	**3,854**
Y/Y増減率(%)	3.6	32.3	11.5	0.8	△ 8.3	△ 8.1	△ 49.0	12.5	24.0	24.2	△ 3.8	△ 18.3
売上高営業利益率(%)	6.1	7.7	9.0	8.9	8.2	7.6	4.5	4.8	5.4	6.8	6.5	4.1
国内塗料	2,353	3,785	3,886	3,466	2,934	2,464	1,631	1,990	1,986	2,200	1,968	1,231
海外塗料	763	775	1,186	1,405	1,190	843	221	236	203	416	238	368
照明機器	785	688	931	1,146	1,238	1,639	479	577	1,285	1,890	2,063	1,928
蛍光色材	154	171	135	119	74	116	54	46	71	28	59	64
その他	177	202	158	213	315	217	257	114	159	138	79	△ 37
調整	194	235	234	236	285	266	183	218	238	227	305	298
経常利益	4,498	5,559	6,600	6,392	6,210	5,786	3,268	3,465	4,316	5,336	5,199	4,479
親会社株主に帰属する当期純利益	2,756	3,614	5,199	4,573	3,604	3,662	1,968	2,031	3,458	4,600	9,437	1,688

* FY20以降の経営指標については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020/3/31）を適用した数値を記載しております。

連結損益計算書（四半期推移）

（百万円）	FY23				FY24				FY25				FY26	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
売上高	**17,814**	**18,556**	**18,411**	**17,158**	**17,483**	**18,652**	**18,972**	**17,403**	**22,300**	**23,664**	**24,281**	**23,513**	**25,407**	**25,955**
Q/Q増減率(%)	△ 4.9	4.2	△ 0.8	△ 6.8	1.9	6.7	1.7	△ 8.3	28.1	6.1	2.6	△ 3.2	8.1	2.2
国内塗料	12,701	13,233	13,084	11,531	12,404	13,197	13,486	11,832	17,287	18,179	18,682	17,721	20,286	20,035
海外塗料	2,127	2,111	2,176	2,113	1,965	2,156	2,068	1,942	2,034	2,121	2,190	2,244	2,155	2,537
照明機器	2,253	2,425	2,308	2,699	2,366	2,566	2,616	2,868	2,274	2,603	2,655	2,891	2,310	2,677
蛍光色材	280	337	278	279	292	267	286	311	279	259	262	286	278	261
その他	451	448	563	534	454	463	513	448	425	501	490	368	377	443
売上総利益	5,471	5,668	5,519	5,145	5,400	5,749	5,981	5,331	6,172	6,454	6,556	6,695	7,645	8,432
売上高売上総利益率(%)	30.7	30.5	30.0	30.0	30.9	30.8	31.5	30.6	27.7	27.3	27.0	28.5	30.1	32.5
販売管理費	4,269	4,154	4,303	4,175	4,309	4,316	4,548	4,573	5,467	5,341	5,388	5,827	5,794	5,766
売上高販売管理費率(%)	24.0	22.4	23.4	24.3	24.6	23.1	24.0	26.3	24.5	22.6	22.2	24.8	22.8	22.2
営業利益	**1,201**	**1,513**	**1,215**	**969**	**1,091**	**1,433**	**1,433**	**758**	**705**	**1,112**	**1,168**	**867**	**1,850**	**2,665**
Q/Q増減率(%)	32.0	26.0	△ 19.7	△ 20.2	12.5	31.3	0.0	△ 47.1	△ 7.0	57.9	5.0	△ 25.8	113.3	44.1
売上高営業利益率(%)	6.7	8.2	6.6	5.7	6.2	7.7	7.6	4.4	3.2	4.7	4.8	3.7	7.3	10.3
国内塗料	586	765	627	221	436	692	725	114	149	393	490	199	1,334	1,881
海外塗料	105	136	10	163	75	78	103	△ 18	112	127	53	74	75	140
照明機器	423	490	449	526	467	563	474	558	344	500	505	578	331	520
蛍光色材	7	6	6	7	13	18	6	20	12	5	22	23	29	5
その他	18	26	64	27	16	0	42	20	18	9	30	△ 96	3	18
調整	58	87	57	23	80	81	81	62	67	76	65	88	76	99
経常利益	1,362	1,598	1,310	1,065	1,382	1,382	1,675	759	848	1,276	1,295	1,059	2,194	2,667
親会社株主に帰属する四半期純利益	910	1,046	772	1,871	1,162	1,553	996	5,723	381	1,023	614	△ 331	1,211	2,220

その他の連結経営指標

（百万円）	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25
貸借対照表												
資産合計	69,252	67,732	70,374	76,155	78,880	76,817	85,765	87,705	92,805	101,618	133,344	137,490
負債合計	40,811	37,112	34,055	32,806	33,796	32,138	34,900	35,713	37,594	39,128	57,173	60,813
純資産	28,441	30,620	36,319	43,349	45,083	44,679	50,865	51,991	55,210	62,490	76,170	76,676
株主資本	20,455	23,382	27,777	31,385	33,868	36,491	37,754	39,101	42,112	46,026	54,515	54,883
自己資本	26,474	28,647	34,103	40,747	42,275	41,762	48,069	49,015	52,033	59,550	65,027	66,773
キャッシュフロー												
営業CF	4,783	5,785	6,133	5,315	4,358	4,434	3,641	3,364	1,282	3,463	3,570	3,011
投資CF	△ 1,838	△ 718	637	△ 398	△ 2,470	△ 4,424	△ 2,325	△ 966	△ 1,449	△ 772	△ 364	△ 3,397
財務CF	△ 2,977	△ 4,317	△ 5,808	△ 4,747	△ 351	△ 742	499	△ 2,841	△ 473	△ 1,657	△ 75	△ 189
現金及び現金同等物期末残高	2,444	3,072	3,953	4,256	5,704	5,064	6,736	6,479	6,340	7,867	11,469	10,913
その他指標												
期末発行済み株式総数	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710	29,710
期末自己株式数	13	310	610	819	1,115	1,408	1,405	1,377	1,273	1,246	1,213	1,148
EPS（1株当たり当期純利益）	92.83	122.38	178.06	157.70	125.61	128.96	69.55	71.74	121.78	161.70	331.40	59.16
BPS（1株当たり純資産）	891.46	974.38	1,171.93	1,410.38	1,478.43	1,475.59	1,698.23	1,730.00	1,829.75	2,092.10	2,281.92	2,337.80
1株当たり配当	15.00	17.50	20.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	35.00	49.00	58.00
配当総額	445	514	582	722	714	707	707	708	710	996	1,396	1,656
DOE(前期末株主資本 配当率)	2.4%	2.5%	2.5%	2.6%	2.3%	2.1%	1.9%	1.9%	1.8%	2.4%	3.0%	3.0%
自己資本比率	38.2%	42.3%	48.5%	53.3%	53.6%	54.4%	56.0%	55.9%	56.1%	58.6%	48.8%	48.6%
ROE	11.4%	13.1%	16.6%	12.2%	8.7%	8.7%	4.4%	4.2%	6.8%	8.2%	15.2%	2.6%
NOPAT-ROE	12.7%	14.8%	14.5%	12.2%	10.1%	9.2%	4.4%	4.6%	5.4%	6.1%	5.3%	4.1%

* 当社は2017/10/1付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、上記記載は**併合前の年度も併合後の株数に置換えて**記載しております。

○会社情報

〒541-0046　大阪市中央区平野町四丁目2番3号 オービック御堂筋ビル5階
Tel：06-6266-3100（代表）
公式HP：https://www.dnt.co.jp/
Mail：dnt10011100@star.dnt.co.jp（IRに関するご連絡）

○IRメール配信サービス

大日本塗料の決算や経営計画の発表、その他適時開示情報、株主の皆様へのご案内などを、タイムリーに配信しております。
ご登録はこちら：https://www.magicalir.net/4611/mail/index.php

○公式SNS

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
本資料における将来予想に関する記述につきましては、当社の目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。業界動向や外部環境認識等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成していますが、当社はその正確性や完全性を保証するものではありません。
本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。